

遊びや場面		ふれあい遊び（ゲーム）		知識及び技能の基礎			思考力、判断力、表現力等の基礎				学びに向かう力、人間性等				
接続期までの遊びや学びのプロセス				・歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする楽しさを味わう。 ・遊びの中で数や量を実感して捉える。			・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。 ・自分の感覚から予想して、もっとよい方法を考え試す。				・遊びの中で、音楽やリズム、新しい言葉や表現などに触れ、これらを使う楽しさを味わう。 ・友達と一緒に勝った喜び負けた悔しさを共有し、充実感や満足感を味わう。				
0歳	・大人とふれあいやスキンシップをとる中で、心地よさを感じる。			【接続期】 5歳児後半	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
1歳	・一人遊びをしたり、周りの子と同じ場で遊んだりする。						◎	○	○	◎	◎		◎	○	
2歳	・簡単な言葉のやり取りを通してふれあいを楽しむ。				遊びや学びのプロセス										
3歳	・じゃんけん遊びを知り、繰り返し遊ぶことを楽しむようになる。				・クラスの友達と一緒にふれあい遊び（じゃんけん列車や椅子取りゲーム、金貨ゲームなど）をする楽しさを感じながら取り組むようになる。 ・友達とのふれあいの中で、相手に対して思いを寄せたり大切な存在であると感じたりする。 ・遊ぶ中で、数を相手との比較したり、「負けたけどさっきより頑張れた」などの以前の自分との比較をしたりし、変化や成果を感じる。 ・仲間の中で自分が役に立った感覚（自分のおかげで…）や仲間に助けてもらった喜び（〇〇くんのおかげで…）を感じる。										
4歳	・自分の思いや考えを言葉で表す。 ・数の多少、大小などの意味が分かり、関心をもつようになる。				環境・援助のポイント										
5歳前半	・勝った喜び、負けた悔しさを感 じるようになる。 ・遊びの中で、数を数えたり、比 較したりする。				・遊びの中で、一人一人が所属感や有用感を感じられるように、個々の頑張り や成果を確認していく。 ・遊び込んできたら、個人戦ではなく、グループ対決をするなど発展していく ことで、協同的な遊びにしてい										
				小学校のスタート カリキュラム		生活科「みんなよろしくね」 算数科「いくつといくつ」 音楽科「うたであそぼう」									

幼児教育と小学校教育が

つながって

どういうこと



第2章

各教科等における

学びのつながり

授業展開例



生活科

担当者からのメッセージ

お話し 佐藤 寛子先生 / 山城 祥二先生

生活科の特徴

生活科は、具体的な体験や活動を通して「生活に関わる見方・考え」を身に付け、能力を育む教科です。

幼児期から遊びの中で身近な人や自然、社会との触れ合いを通して豊かな感性を育み、小学校以降では体験活動と学習活動の相互作用を図ることを目指しています。また、学習指導要領等にも示されています。幼児教育を通して生まれる学びの芽を小学校教育の学びの基盤としていくという意識が大切です。

幼児期の遊びを通して育まれた「感じる」「気づく」「繰り返して楽しむ」が、小学校以降の学びの基盤となります。



算数科

担当者からのメッセージ

お話し 朝岡 悦子先生 / 松井 恵子先生

算数科の特徴

算数科は、社会生活や自然の現象を通して、「数や量の見方・考え方」を身に付け、能力を育む教科です。

幼児期、遊びや生活の中で、数や量の見方・考え方を身に付けていき、小学校以降では「数や量の見方・考え方」を身に付け、能力を育む教科です。

幼児期から遊びの中で身近な人や自然、社会との触れ合いを通して豊かな感性を育み、小学校以降では体験活動と学習活動の相互作用を図ることを目指しています。また、学習指導要領等にも示されています。幼児教育を通して生まれる学びの芽を小学校教育の学びの基盤としていくという意識が大切です。

幼児期の遊びを通して育まれた「感じる」「気づく」「繰り返して楽しむ」が、小学校以降の学びの基盤となります。



音楽科

担当者からのメッセージ

お話し 米屋 真由美先生 / 梅宮 真里先生

音楽科の特徴

音楽科は「音楽がもたらす感動を通して、音楽的な見方・考え方を身に付け、能力を育む教科です。」

幼児期から遊びの中で身近な人や自然、社会との触れ合いを通して豊かな感性を育み、小学校以降では体験活動と学習活動の相互作用を図ることを目指しています。また、学習指導要領等にも示されています。幼児教育を通して生まれる学びの芽を小学校教育の学びの基盤としていくという意識が大切です。

幼児期の遊びを通して育まれた「感じる」「気づく」「繰り返して楽しむ」が、小学校以降の学びの基盤となります。

